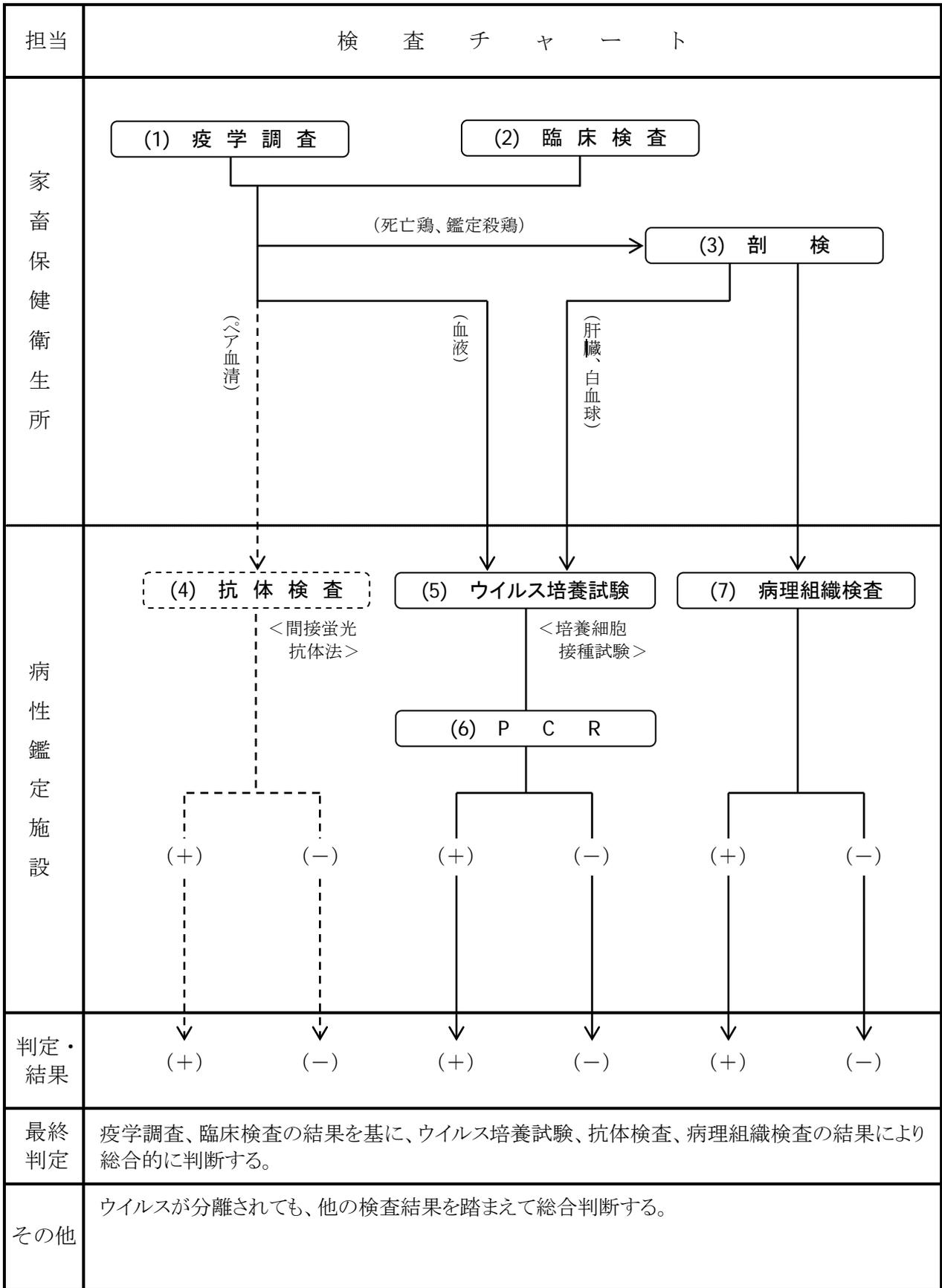


125 鶏貧血ウイルス病



→類似疾病検査

- ① 出血性症候群(サルファ剤中毒など)
- ② 126 鶏封入体肝炎
- ③ 117 伝染性ファブリキウス嚢病
- ④ 121 ロイコチトゾーン病

○ 病原体:鶏貧血ウイルス;Chicken anemia virus [*Chicken anemia virus*, *Gyrovirus*, *Circoviridae*]

(1) 疫学調査

- ① ふ化後 1～4 週齢に発生。鶏貧血ウイルス抗体が陰性の種鶏群由来のひなで発生(介卵感染)
- ② 発病率は数%～20%。不顕性感染が多い。
- ③ 伝染性ファブリキウス嚢病ウイルスの感染で病状は悪化

(2) 臨床検査

- ① 貧血
- ② Ht 値の低下
- ③ 発育不全
- ④ 元気消失

(3) 剖 検

- ① 骨髄の退色・黄変
- ② 胸腺萎縮
- ③ 筋肉・腺胃粘膜の出血
- ④ ファブリキウス嚢の萎縮
- ⑤ 各臓器の貧血による退色
- ⑥ 肝臓腫大

(4) 抗体検査(間接蛍光抗体法)

間接蛍光抗体法

ペア血清について行う。

(5) ウイルス培養試験(培養細胞接種試験)

細胞:マレック病由来リンパ球培養細胞(MSB1、浮遊細胞)

材料:肝臓、白血球

方法:MSB1細胞に材料を接種し2-3日培養後、細胞継代を繰り返す。ウイルス増殖に伴い、継代ができなくなる。最終的には7代程度継代しても継代可なら分離陰性とする。

判定:細胞の死滅による細胞増殖の停止、蛍光抗体法による特異抗原の検出または PCR によるウイルス遺伝子検出

(6) P C R <sup>1)</sup>

材料:分離ウイルス(胸腺、肝臓、脾臓)

用途:同定

(7) 病理組織検査

- ① 骨髄造血組織の脂肪化
- ② 白血球減少
- ③ リンパ系臓器のリンパ球消失

(参考文献)

・鶏病研究会編:鳥の病気.

1) Imai, K., et al.: Res. Vet. Sci. 64, 205-208 (1998).